

市議会だより

6月定例会 一般質問

- 13人の議員が市政について質問しました。
- 主な内容については次のとおりです。

高野 邦良 議員

市民の安心と安全を 確立する施策について

問 合併関連予算が16億4千万円計上されました。お金には代えられない大切な夢を実現することですが、それはなんですか。

答 私と幡豆郡3町長の思いは、この地域に暮らすすべての人々が、ふるさとに誇りを持ち、安全で安心な生活を送り、幸せを実感できる地域をつくることでもあります。

問 人の命はお金には代えられない大切なものです。合併すれば、医療体制はより強化されますか。

答 合併後は、西尾市民病院を地域の医療体制を支える基幹病院として、そ

の役割を十分発揮できるように、病院機能の充実を図るとともに、地域内の民間病院との連携をさらに強化していきます。また、新市の医療ガイドマップなど、市民の皆さんに行政情報全般を発信する必要があると考えています。

問 合併すれば、防災体制もより強化されますか。

答 組織の見直しを検討し、技術の向上や機材の充実を図り、総合的に防災力を強化していきます。

問 人の命を支える生活基盤は、特に大切です。合併すれば、雇用体制は、より強化されますか。

答 企業誘致を推進し、地域の活力づくりに取り組みます。地域産品の発掘や新たな特産品開発を支援し、雇用の創出を図ります。

来年度から導入される 小学校英語活動について

問 私は、日本航空のパイロット試験に挑戦し、当時の松尾静磨社長から、面接を受けました。社長のワン・フレーズ、「英語は世界へ羽ばたく翼である。」これをベースにした小学校英語の動機づけ、「英語を学べば世界へつながる、友達が増える、日本語が豊かになる。」これを指導方針の参考にしたいだけですか。

答 今後、参考にさせていただきます。



花ノ木小学校での英語授業

問 理想の英語授業形態があります。それは、英語を母国語とする品格ある外国人講師と、子どもを知り尽くした

学級担任とのコラボ授業です。ぜひ実現していただけますか。
答 研修や研究を通して、理想的な教師に近づくように努力していきます。

中村 眞一 議員

生涯教育の場の設置及び 一市三町の合併について

問 矢田ふれあいセンターの早期建設は、校区20年来の要望です。それをどのように思いますか。また、地域活性化臨時交付金で矢田ふれあいセンターと室場こども園の設置を考えませんか。
答 矢田ふれあいセンター建設は、用地確保ができており、地域住民の要望も考慮し調整を図ります。臨時交付金の交付は未定ですが、他の交付金があれば優先します。

問 合併協議会は合併ありきで協議するものではないと思いますが如何ですか。また、協議会の中で住民投票についての議論も必要と思いませんか。

答 協議会は基本事項について協議することであり、目指すは一市三町の合併ですが、協議が難航することにより、合併の是非の議論も想定されます。協議会の中で住民投票についての議論が必要とは認識していません。

問 住民投票の署名が2万人強、集ま